

社会情報論

第15回

本講義の振り返りと期末テスト

担当 経営・社会情報学プログラム
教授 山本佳世子

世界規模でのパラダイムシフト

Alvin Toffler

- 「社会には、単なる認識だけではない、すべての種類のスキルが必要である。それらは感情的であり、それらは愛情である。データとコンピュータだけでは社会は実現しない。」
- 著書「第三の波」(1980年)の中で、「波」の概念に基づいて、三種類の社会を描写
- 「デジタル革命」「コミュニケーション革命」なども提案

「第三の波」

■ 第一の波は農業革命

- ・それ以前の狩猟採集社会の文化を置換した

■ 第二の波は産業革命

- ・大量生産, 大量流通, 大量教育, マスメディア, 大量のレクリエーション, 大衆娯楽, 大量破壊兵器などに基づくもの
- ・それらを標準化と中央集権, 集中化, 同期化などで結合し, 官僚制と呼ばれる組織のスタイルで仕上げをする

■ 第三の波は脱産業社会……情報化時代

- ・多くの国が第二の波から第三の波に乗り換えた

狩猟・採集社会

物

農業革命

土地

物

産業革命

資本

土地

物

情報革命

情報

資本

土地

物

ポスト情報社会

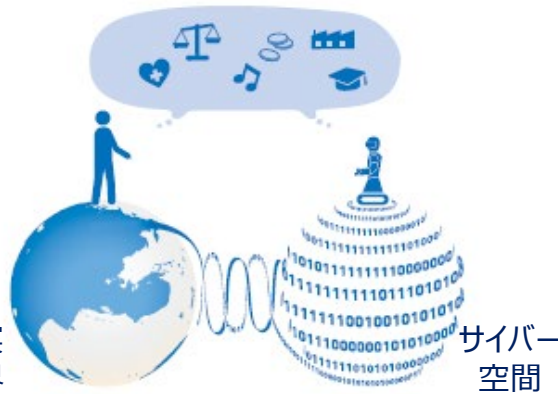
世界に先駆けた「超スマート社会」の実現 (Society 5.0)

サイバー空間と現実世界とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす「超スマート社会」を未来の姿として共有し、その実現に向けた一連の取組を更に深化させつつ「Society 5.0」*として強力に推進する。

*狩猟社会、農耕社会、工業社会、情報社会に続くような新たな社会を生み出す変革を科学技術イノベーションが先導していく、という意味を込めている。

新たな社会 (超スマート社会)

現実
世界



サイバー
空間

狩猟社会



農耕社会

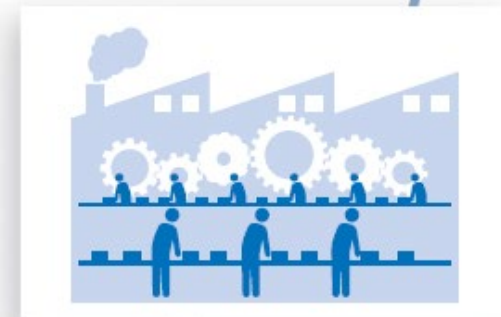


Industrial 4.0
(ドイツ)

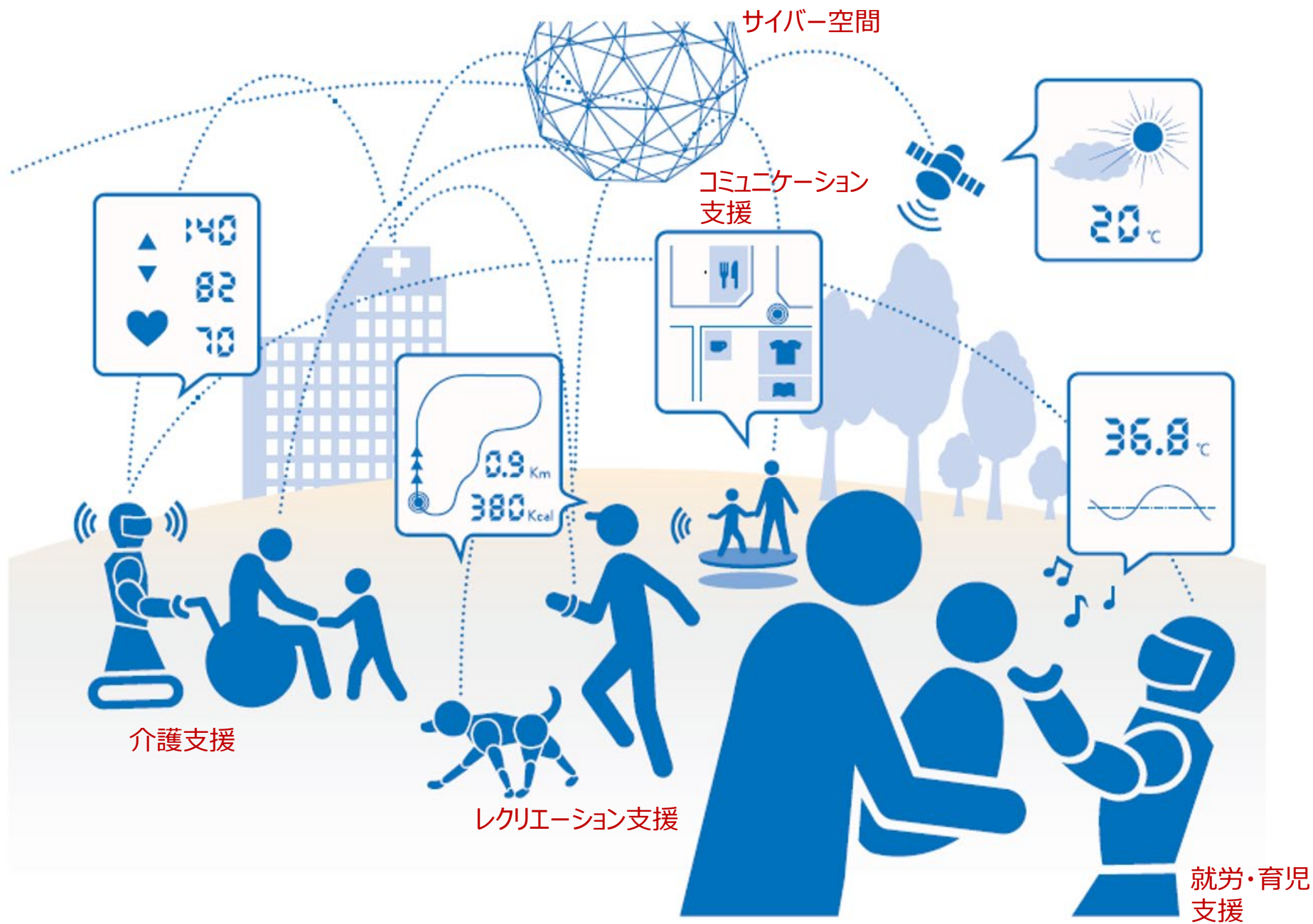
情報社会



工業社会



「超スマート社会」のイメージ（補足）



講義内容

I. 情報通信技術の変化(5回)

II. 情報通信技術の変化の社会事象への影響(4回)

III. 情報通信技術を活用した研究例(4回)

第2回の講義の内容

高度情報通信ネットワーク社会

1. 高度情報ネットワーク化社会の進展
2. オープンデータ, ビッグデータ
3. オープンガバメント
4. Beyond 5G(6G)

第3回の講義の内容

共創進化スマート社会

1. 共創進化スマート社会
2. スマートシティ・スマートエリア

第4回の講義の内容

共創進化スマート社会から先の未来

1. デジタルツイン

2. メタバースの世界

3. 共創進化スマート社会から先の未来

私たちはどこに向かうのか？

第5回講義の内容

情報環境とメディアの変化・多様化

1. 高度情報通信ネットワーク社会とメディアの変化
2. 情報環境と情報通信端末の変化
3. マスメディアとソーシャルメディア

第6回の講義の内容

時空間情報の利活用

1. GIS(地理情報システム)
2. オープンデータ, ビッグデータとGIS
3. GISの普及と利活用

第7回の講義の内容

情報格差と情報セキュリティ

1. 情報格差に関する問題

2. 情報セキュリティ問題

第8回の講義の内容

東日本大震災の復旧・復興

1. 東日本大震災における情報通信技術が果たした役割
2. 東日本大震災における情報通信の課題
3. 東日本大震災に関連したボランティア活動
4. 災害時のボランティアの課題

第9回の講義の内容

中東・北アフリカ地域の民主化運動(アラブの春)

1. 「アラブの春」とは何か？
2. ソーシャルメディアの役割
3. マスメディアの役割
4. 「アラブの春」のその後

第10回の講義の内容

電子民主主義(E-Democracy)と選挙活動

1. 電子民主主義(E-Democracy)
2. 電子投票
3. 日本のインターネット選挙
4. アメリカ大統領選挙におけるソーシャルメディアの利活用

第11回の講義の内容

ソーシャルメディアGISによる防災・減災対策

1. 研究の動機
2. ソーシャルメディアGISの開発
3. 防災・減災対策システムの研究開発事例
 - ・研究開発事例1
(平常時)災害情報のマッシュアップシステム
 - ・研究開発事例2
(平常時～災害発生時)災害情報の活用支援システム
4. 研究開発の今後の展開と課題

第12回の講義の内容

時空間情報システムによる地理・歴史学習支援

1. 研究の動機
2. バーチャル時空間情報システムの設計
3. システムの構築
4. システムの運用
5. システムの評価
6. 研究開発の今後の展開と課題

第13回の講義の内容

GISを用いた施設配置評価

1. 施設配置問題
2. GISを用いた介護福祉施設の配置評価
3. GISを用いた保育施設の配置評価

第14回の講義の内容

GISを用いた環境情報解析

1. 序論
2. 評価方法と評価対象
3. 利用データの収集と加工
4. 評価対象地域全域でのADMERによる解析結果
5. 評価対象地域全域での環境リスクの評価
6. 発生源近傍でのMETI-LISによる解析結果
7. 発生源近傍での環境リスクの評価
8. 結論と今後の研究課題

第15回講義内容

本講義の振り返り

期末テスト

成績評価方法

出席状況

試験

講義内容

I. 情報通信技術の変化(5回)

II. 情報通信技術の変化の社会事象への影響(4回)

III. 情報通信技術を活用した研究例(4回)

第2回の講義の内容

高度情報通信ネットワーク社会

1. 高度情報ネットワーク化社会の進展
2. オープンデータ, ビッグデータ
3. オープンガバメント

第3回の講義の内容

共創進化スマート社会

1. 共創進化スマート社会
2. スマートシティ・スマートエリア

第4回の講義の内容

共創進化スマート社会から先の未来

1. デジタルツイン

2. メタバースの世界

3. 共創進化スマート社会から先の未来

私たちはどこに向かうのか？

第5回講義の内容

情報環境とメディアの変化・多様化

1. 高度情報通信ネットワーク社会とメディアの変化
2. 情報環境と情報通信端末の変化
3. マスメディアとソーシャルメディア

第6回の講義の内容

時空間情報の利活用

1. GIS(地理情報システム)
2. オープンデータ, ビッグデータとGIS
3. GISの普及と利活用

第8回の講義の内容

東日本大震災の復旧・復興

1. 東日本大震災における情報通信技術が果たした役割
2. 東日本大震災における情報通信の課題
3. 東日本大震災に関連したボランティア活動
4. 災害時のボランティアの課題

第9回の講義の内容

中東・北アフリカ地域の民主化運動(アラブの春)

1. 「アラブの春」とは何か？
2. ソーシャルメディアの役割
3. マスメディアの役割
4. 「アラブの春」のその後

第10回の講義の内容

電子民主主義(E-Democracy)と選挙活動

1. 電子民主主義(E-Democracy)
2. 電子投票
3. 日本のインターネット選挙
4. アメリカ大統領選挙におけるソーシャルメディアの利活用

第11回の講義の内容

ソーシャルメディアGISによる防災・減災対策

1. 研究の動機
2. ソーシャルメディアGISの開発
3. 防災・減災対策システムの研究開発事例
 - ・研究開発事例1
(平常時)災害情報のマッシュアップシステム
 - ・研究開発事例2
(平常時～災害発生時)災害情報の活用支援システム
4. 研究開発の今後の展開と課題

第12回の講義の内容

時空間情報システムによる地理・歴史学習支援

1. 研究の動機
2. バーチャル時空間情報システムの設計
3. システムの構築
4. システムの運用
5. システムの評価
6. 研究開発の今後の展開と課題

第13回の講義の内容

GISを用いた施設配置評価

1. 施設配置問題
2. GISを用いた介護福祉施設の配置評価
3. GISを用いた保育施設の配置評価

第14回の講義の内容

GISを用いた環境情報解析

1. 序論
2. 評価方法と評価対象
3. 利用データの収集と加工
4. 評価対象地域全域でのADMERによる解析結果
5. 評価対象地域全域での環境リスクの評価
6. 発生源近傍でのMETI-LISによる解析結果
7. 発生源近傍での環境リスクの評価
8. 結論と今後の研究課題

第15回講義内容

講義の振り返り

試験

成績評価方法

出席状況

試験

研究室の連絡先など

・**場所** 東2号館415研究室

・**連絡先** 内線5728

E-mail kayoko.yamamoto@uec.ac.jp

・**研究室ウェブサイトとGoogleClassroomに講義資料の掲載
(講義資料はダウンロードすること)**

<http://www.si.is.uec.ac.jp/yamamotohp/>